

令和6年度LINE相談「ひとりで悩まないで@長野」の実施について

心の支援課

1 事業目的

不安や悩みを抱える中学生・高校生の「相談したい気持ち」に応えるため、LINEを活用した相談窓口を開設する。

2 事業内容

委託業者 : アディッシュ株式会社

開設期間 : 令和6年4月1日(月)から令和7年3月31日(月)までの毎週水曜日および6・10・11・2月以外の日曜日 計85日間
※7・8・9月の毎週水曜日は地元大学生等が相談対応する「ピア・デイ」

受付時間 : 17時から21時(相談終了21時30分)
※ピア・デイ期間中は18時から20時(相談終了20時30分)

対象者 : 県内の中学生、高校生等 約12万人
(新年度に合わせ二次元コードを記した周知カードを学校へ送付)

相談員 : 相談責任者1席 相談員3席

【令和6年度実施のポイント】

引き続き、中学生・高校生の「相談したい」という気持ちに応えられるよう、窓口の相談機会を拡充し、「学校生活相談センター」の電話相談や文書相談などと連携し、生徒が相談しやすい相談体制の構築を目指す。

○相談開始を17時からとし、相談時間を1時間拡充する。(ピア・デイ:7・8・9月の水曜日を除く)

○毎週水曜日の常設化に加え、6・10・11・2月以外の毎週日曜日にも開設する。(今年度から5・12月を追加)

○混雑が予想される時期に向け、相談員4席での対応日を増設する。

○7・8・9月の水曜日は、地元の大学生等が対応する「ピア・デイ」を設定する。中学生・高校生と年齢の近い学生が相談対応する良さを活かした取組およびその周知の工夫していく。

○相談のタイミングが合わない場合でも相談員から話しかけをすることや「学校生活相談センター」の電話相談、文書相談も必要に応じ案内していく。

参考：令和5年度の実績 ※相談対応件数1,201件(77日間)

【成果】

○窓口開設日は前年度から5日間増加であったが、相談対応件数は大幅に増加した。(約300件増)通年での相談窓口の常設化に加え、悩みや不安の生じやすい長期休業前後を中心とした日曜日に開設日を増設したことで、深刻な悩みを話す「居場所」を求める相談者への継続的な対応が可能となるケースがみられた。

○「心身の健康・保健」に関する相談が最も多く、次いで「学業・進路」に関する相談が多かった。友だち登録者を対象としたアンケートの結果、利用したことがあると回答した生徒のうち90.6%は「よかった」「まあよかった」と回答しており、昨年引き続き利用者の満足度が高いことがうかがえた。

【課題】

◇友だち登録者を対象としたアンケートの結果、「相談日数の増加」「相談受付時間の延長」「窓口のつながりやすさ」への要望があり、相談したい気持ちを抱える子どもたちにとって、相談できる機会を拡充し、よりつながりやすい窓口となるよう改善していく必要がある。